

北海道短期大学

専修大学北海道短期大学「ホームページ」
http://www.senshu-hc.ac.jp

メールアドレス
nyushi@senshu-hc.ac.jp
ダイヤルイン
(入試関係)
0126-63-0123

「旭山動物園ツアー」を開催

独自の行動・混合展示など見学

学生部では、北海道の名所を訪ね、自然や伝統を体感することを目的に年3回ツアーを企画している。今秋は10月18日、「旭山動物園ツアー」を開催。参加した学生約40人は、世界レベルでも上位の来園者数を誇る、北海道を代表する観光スポットで、有意義な1日を過ごした。



▲アザラシ館を見学

旭山動物園の前で記念撮影
ラーメン村の前で



▲調印書を交換、さらなる交流の促進を確認(左が新家学長)

02年から国際交流協定を結んでいる黒竜江農業職業技術学院(中国黒竜江省佳木斯市)との教育・研究交流に係る「交流覚書」の継続調印が10月21日、3号館第1会議室で取り交わされた。

本学から新家学長、寺本千名天副学長、同学院から李東陽院長、杭玉臣書記、孫連双外事処長が出席し、覚書を交換し、22日には3氏と在籍留学生との懇談会が開催されたほか、学内施設や農場の視察も行われた。

中国・黒竜江農業職業技術学院と「交流覚書」を継続調印



真剣な表情でガイダンスを受ける生徒たち

後、67人の留学生を受け入れており、今年度も11人が入学した。

10月21日、中学校の「将体体験学習」が行われ、美唄市立東中学校の生徒7人が来学し、プログラムに参加した。

新家学長の歓迎のあいさつの後、石坂信一郎広報委員長(商経社会総務)が「将来の進路検討、高等教育を受ける意義」をテーマにキャリアアライアンスを実施。生徒たちに将来設計の必要性を説き、進路の検討を促した。

また、図

美唄市立東中の生徒7人が体験学習プログラムに参加

人々が来学し、プログラムに参加した。

9月の北海道学生柔道体重別大会で3位入賞を果たした柔道部(工藤正義監督)が、全日本学生柔道体重別大会(インカレ)に出場。梁川翔太(みどり)の総合科学科2・宮城柴田(高)は「全国レベルめざし、練習に励んでほしい」と後輩にエールを送った。

この教室は、調理を通して「食」について考えてもらおうと、美唄市保健センターが若者を対象に開催している「料理教室」を出張開催している。今回は同センターと食生活改善推進協議会から管理栄養士、保健師を含む5人が訪れ、学生たちに料理の手ほどきをした。

また、栄養士による「食のクイズ」も行われ、「一日に必要な野菜の量は？」「カツカレーと同じカロリー分のジャガイモの量は？」などの問題は、日ごろの食生活を見直すきっかけとなった。

願の全国大会初勝利こそならなかったが出場校中、唯一の短大として堂々とした戦いを見せた。今年度は5月の北海道学生優勝大会でも3位となり、5年ぶりに全国学生優勝大会(インカレ)に出場。梁川翔太(みどり)の総合科学科2・宮城柴田(高)は「全国レベルめざし、練習に励んでほしい」と後輩にエールを送った。

専大ファーム産の食材使い「旬の料理教室」

学生部の呼びかけで「第5回旬の料理教室」が10月21日、セベック会館の食堂で開かれた。今回のメニューは「鮭のちやんちゃん風ホイル焼き」「カボチャの素揚げサラダ」の2品。参加した学生9人は専大ファーム産の新鮮な食材を使った料理に調理にトライした。

この教室は、調理を通して「食」について考えてもらおうと、美唄市保健センターが若者を対象に開催している「料理教室」を出張開催している。

また、栄養士による「食のクイズ」も行われ、「一日に必要な野菜の量は？」「カツカレーと同じカロリー分のジャガイモの量は？」などの問題は、日ごろの食生活を見直すきっかけとなった。

また、栄養士による「食のクイズ」も行われ、「一日に必要な野菜の量は？」「カツカレーと同じカロリー分のジャガイモの量は？」などの問題は、日ごろの食生活を見直すきっかけとなった。

また、栄養士による「食のクイズ」も行われ、「一日に必要な野菜の量は？」「カツカレーと同じカロリー分のジャガイモの量は？」などの問題は、日ごろの食生活を見直すきっかけとなった。

また、栄養士による「食のクイズ」も行われ、「一日に必要な野菜の量は？」「カツカレーと同じカロリー分のジャガイモの量は？」などの問題は、日ごろの食生活を見直すきっかけとなった。

恒例「キッズ・ベースボール」4チームが熱戦

恒例になった「学長杯争奪第4回キッズ・ベースボール in 専修」(主催=美唄市商工会議所青年部)が快晴に恵まれた10月19日、本学野球場で開催された。

6月の「少年野球教室」に続き、硬式野球部員が協力。審判や進行など試合運営に携わった。大会には美唄市内の少年野球チームから4チームが参加。応援の父母ら約150人が見守る中、トーナメント方式で熱戦を繰り広げた。決勝戦も手に汗にぎる好ゲームとなり、「美唄東リトルベアーズ」が「峰延ブルーウェーブ」を制し、優勝に輝いた。

個人表彰の結果は次の通り。
【優秀選手賞】▽佐々木健太くん(美唄東リトルベアーズ)▽石岡慶明くん(峰延ブルーウェーブ)▽貞廣賢くん(美唄中央バッファローズ)▽櫻井寛二くん(西美唄トラクターズ)

この教室は、調理を通して「食」について考えてもらおうと、美唄市保健センターが若者を対象に開催している「料理教室」を出張開催している。

また、栄養士による「食のクイズ」も行われ、「一日に必要な野菜の量は？」「カツカレーと同じカロリー分のジャガイモの量は？」などの問題は、日ごろの食生活を見直すきっかけとなった。

また、栄養士による「食のクイズ」も行われ、「一日に必要な野菜の量は？」「カツカレーと同じカロリー分のジャガイモの量は？」などの問題は、日ごろの食生活を見直すきっかけとなった。

就職・進学状況など報告 秋期父母懇談会

平成20年度秋期父母懇談会が10月25日、本学で開かれた。全国各地から46組59人の父母が出席し、個人面談などのプログラムを通じ、本学への理解を一層深められた。

はじめに新家学長、各学科長が教育方針や学科の詳細、就職や進学の状況を報告。引き続き行われた個別面談では、担当教員が1人約20分をわたり、子女の修学状況や進路についてアドバイスを送った。また、面談の間には学内施設の見学も行われ、学生たちの学習環境を体感した。

また、栄養士による「食のクイズ」も行われ、「一日に必要な野菜の量は？」「カツカレーと同じカロリー分のジャガイモの量は？」などの問題は、日ごろの食生活を見直すきっかけとなった。

また、栄養士による「食のクイズ」も行われ、「一日に必要な野菜の量は？」「カツカレーと同じカロリー分のジャガイモの量は？」などの問題は、日ごろの食生活を見直すきっかけとなった。

また、栄養士による「食のクイズ」も行われ、「一日に必要な野菜の量は？」「カツカレーと同じカロリー分のジャガイモの量は？」などの問題は、日ごろの食生活を見直すきっかけとなった。

また、栄養士による「食のクイズ」も行われ、「一日に必要な野菜の量は？」「カツカレーと同じカロリー分のジャガイモの量は？」などの問題は、日ごろの食生活を見直すきっかけとなった。

2009年度 専修大学北海道短期大学入学試験日程

試験区分	出願期間	試験日	合格発表日	選考方法
推薦入学試験 募集生・生員 公自費生 専門課程 総合学科 指定校	第2期 12/1(月)~12/15(月)	12/19(金)	12/24(水)	面接 書類審査
一般入学試験	A日程 2009年 1/13(火)~1/26(月)	1/30(金)	2/6(金)	注1)
	B日程 2009年 2/9(月)~2/23(月)	2/27(金)	3/4(水)	
	C日程 2009年 3/2(月)~3/9(月)	3/13(金)	3/16(月)	

注1) 一般入学試験の試験科目は小論文(600字程度)、国語総合(古文・漢文を除く)、現代文から1科目選択。
※推薦入学試験の試験地 第2期は【美唄・仙台・東京】の3会場。
※一般入学試験の試験地 全日程ともに【美唄・札幌・東京】の3会場。

問い合わせ先 〒079-0197 北海道美唄市字美唄1610-1
専修大学北海道短期大学 入試係 ☎0126-63-0123(直通) FAX 0126-63-3097